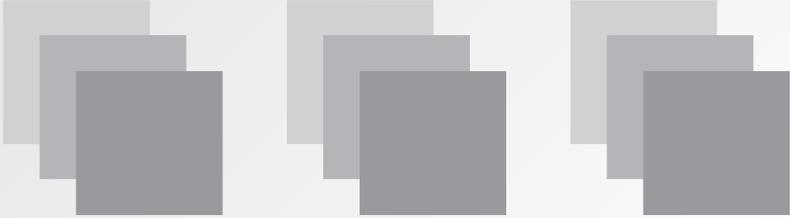


# 安全衛生 3分間スピーチ選集

厳選・朝礼に使える 100 の話材

中央労働災害防止協会



## はしがき

多くの職場で朝礼やミーティングが行われています。災害ゼロの明るい職場づくりを目指すうえで、コミュニケーションや話合いの場としての重要性が広く認められているからでしょう。

さらには、事業場の側からすれば、新しい年度の方針や計画を知ってもらいたい、安全と健康を一人ひとりの問題として考えて欲しいという願いが、そこにはこめられています。

この願いを具体化するための一つのやり方が管理監督者あるいは安全衛生スタッフによるスピーチといえましょう。それには、何としても、みんなに聞いてもらえる、心を打つスピーチであることが求められるのです。

このスピーチ集は、そのようなニーズに応えるための話材、つまり話のタネ、参考例をまとめた、中央労働災害防止協会発行『安全衛生3分間スピーチ』『続・安全衛生3分間スピーチ』『心で語る朝礼のヒント集 80話』の三冊から、一〇〇話を選び抜いて再構成したもので、いずれも現場の指導経験の豊かな方たちの話材で構成されています。

このまま話すというよりは、日常の職場や家庭生活の中で、意識して見聞きし

ていれば気がつく話材があるのではないか——そのヒントになればと思います。全体は五つの章から成っていますが、第1章「一人ひとりカケガエのない人のために」は、安全と健康を願う気持ちに満ちあふれ、「心を打つスピーチとはどんなものか」について参考にしていただける話材をまとめました。

第2章「安全職場づくりの第一歩のために」は、これから安全衛生に取り組む作業員や、新人者向けに最適な、4Sや挨拶、危険予知（KY）活動やヒヤリハット活動の基本などの内容とし、続く第3章「安全と健康の先取りと向上のために」は、さらなる前進のための内容としました。

第4章「安全で健康的な毎日のために」は、職場以外での出来事と職場での安全衛生活動を相互に関連させて考えてもらえるような事例をまとめました。

第5章「監督者の現場実践のために」は、管理者の方の監督者に向けたスピーチ集で、いずれも監督者の実務向上と現場実践への期待がこめられたものです。本書が朝礼、ミーティングの活性化の一助となれば幸いです。

平成二九年五月

中央労働災害防止協会

## 目次

はしがき

### 第1章 一人ひとりカケガエのない人のために

スピーチ例 22

- ある奏者の一言 — 家族に心配をかけました — 14
- 一人ひとりが「安全人間」に — 危険を考え行動に移せる人 — 16
- 子供につらい思いをさせるな — 父の死に涙こらえる少女 — 18
- 休みと仕事の切り替え — 休暇の前後は要注意 — 20
- 「しつこい」くらいに — 繰り返し連続で身につく — 22
- 紅しようがの話 — 母親の心根に学ぶ — 24
- 「自分だけは大丈夫」 — 崖っぷちで用を足す — 26
- 自分を守る武器を持って — KYTのすすめ — 28
- 結果よりもプロセス — ホンネの話し合いから — 30

- 米一粒の話 — きょう一日怠けたって……— 32
- 「実践します！」 — ある女性の朝礼での話— 34
- 車と車の間から人が出る — ゼロ災運輸の願い— 36
- 父親のスピーチ — K Y T の副産物— 38
- 靴をそろえる孫 — 見よう見真似の新人者— 40
- 献血のすすめ — ひとつの社会参加— 42
- Hさんの涙 — チームワークも「ゼロ災の心」— 44
- 元気が最高！ — ある介護施設での生活— 46
- 安全を支える健康 — 二日酔いで心も虚ろ— 48
- 看護師と指差呼称 — ナース ヨシ！ 患者 ヨシ！— 50
- 心を変えれば人格まで変わる — 四十年前の悲惨な体験— 52
- 日々の精進 — ゆったりした努力— 54
- 明日では遅すぎる — 危険を感じたらすぐ対処— 56

## 第2章 安全職場づくりの第一歩のために

スピーチ例 22

- 一秒間の安全推進法 — 朝の出会いの挨拶を — 60
- アゴひもの締め方 — 保護具は確実に身につける — 62
- 共同作業のポイント — 合図の仕方、意味の確認 — 64
- 4Sから始めよう — 安全衛生の原点の見直し — 66
- “自分”の中にある事故原因 — 朝食をとる余裕なく — 68
- 健康問いかけの話 — 自己申告の大切さ — 70
- リラクセーションのすすめ — 神経性の疲れよ、サヨウナラ — 72
- 朝礼の素晴らしさ — 作業開始前の安全確認 — 74
- ヒヤリハットと災害は紙一重 — 目の前で雪崩が発生 — 76
- 誤った一一九番通報 — 決定事項は必ず守る — 78
- 指差しをしても気がつかない — 新人者の行動 — 80
- バスルームの赤い札 — 誰もが分かる安全標識 — 82

- ヒヤリハットで安全先取り — 全員でヒヤリの共有化 — 84
- ある女子高生の一言 — 気持ちを楽に持って — 86
- ストレスに強い体質づくりを — 心の健康も大切に — 88
- 日々あらた — 打合せや点検はキチンと — 90
- 作業指示はしつかり聞こう — 指示内容を正確に受けとめる — 92
- 安全パトロールに思う — 災害の芽を摘みとる — 94
- KYTの第1ラウンド — 1Rは安全作業の第一歩 — 96
- ポケ手<sup>1)</sup>はこわい — 災害に結びつく<sup>2)</sup>癖 — 98
- ところ変われば品かわる — 先入観は禁物 — 100
- 流れに乗ろう — 交通安全の基本 — 102

### 第3章 安全と健康の先取りと向上のために

#### スピーチ例 22

- 危険に気付く感受性を磨け — ある登山家の生還 — 106
- 音を観る — 見えないものをみる — 108

- ヒヤリハットに学べ — 災害とヒヤリハットの違い — 110
- 寝たふり状態 — 停止している原因はいろいろ — 112
- 解釈 “ウラオモテ” — 『常識』の多面性 — 114
- 電源 OFF! — センサーの勘違い — 116
- ストライクゾーン — 重量物の取扱いを見直そう — 118
- 「大丈夫」と「安全」 — これからの危険を予知しよう — 120
- 災害は繰り返される? — みんなが自分の問題に — 122
- 意識の中断 — 先を考える人ほど危ない — 124
- 災害ゼロは安全か — 災害ポテンシャルに気付こう — 126
- 時速四〇キロメートルの痛さ — 速い? 遅い? — 128
- “ポケ手” を注意される — 声をかけ、注意し合おう — 130
- 「水洗浄で火がついた」 — 静電気とガスが結びつく — 132
- “忍者” を見つけよう — 五〇メートル先のガソリンに引火 — 134
- 清掃は点検なり — “三現主義” のすすめ — 136
- ミーティングをおろそかにするな — 過信は禁物 — 138
- 読まれない注意ラベル — 密閉された場所でコンロを使う — 140

## 第4章 安全で健康的な毎日のために

### スピーチ例 15

- 大工さんの知恵 — “自分自身”を削れ— 142
- 炭焼きの義父の教え — 災害の芽をつみとろう— 144
- 「遊び手」と「支え手」 — 「禁止」から「する」安全へ— 146
- 健康KYで快適な職場づくり — はっきり体調を申告— 148
- 料理は “義務じゃない” — 台所での指差し確認— 152
- 階段ぐらいたく思うなかれ — 事前に手をうつ— 154
- 心をこめる — 「心、ここにあらざらんば…」— 156
- 躰二題 — アドバイスを素直に聞く— 158
- 火葬場からの脱出 — 確認の大切さ— 160
- マイペースの戒め — ルールを守る気配り— 162
- カン違い — 作業指示に “落ち” が…— 164
- 挨拶のころ — 心を開いて相手に迫る— 166

## 第5章 監督者の現場実践のために

### スピーチ例 19

- KYTは、幸せな人生へのパスポート — 山行きにおける実践事例 — 168
- 「だろっ行動」 — もらい事故で済まされぬ — 170
- 食事と運動と心の安定 — 日々の健康づくりに努めよう — 172
- 自分の体力を知ろう — コードを踏んで捻挫 — 174
- 老母の指差呼称 — 身近なことから始めよう — 176
- 一人暮しとゼロ災 — 「うっかり、ぼんやり」防止の歯止め — 178
- わき見さえしなければ — 要所要所の集中心力 — 180
- ある安全朝礼の話 — 「一番うしろの人、聞こえるかな」 — 184
- 単立て『指示待ちびと』 — 先輩としての心構え — 186
- 咄嗟の場合に一呼吸 — よく聴いて、確かめて — 188
- 野菜づくりは、人づくりに通じる — 愛情と環境で育つ — 190
- 女性職員のひと言 — あるがまま相手を受け入れる — 192

- 常識と非常識 —一人ひとり異なる常識— 194
- 人の使い方がへただ —仕事より人に就く— 196
- 明るい職場づくり —何でも打ち解け話せるか?— 198
- 若者には「行動コトバ」で —「お客様の立場」とは— 200
- ハンマーの柄のすげ替え —安全のルールを教えたか— 202
- 子ども叱るな来た道じゃ —立場の違いを超えて— 204
- 4Sで気付く —私のパトロール日誌から— 206
- マスクせずに槽内に —パニックに強くなろう— 208
- 適切な指示とは? —誤解が危険を生むことも— 210
- 渡り通路 —管理者としての責任は— 212
- 白線を拭くりーダー —自ら実践— 214
- 近隣の爆発火災 —物陰に隠れて警戒せよ— 216
- 結婚披露宴での祝辞 —聞き手の立場でひと工夫— 218
- 人の話を聴く —あるヘルパーの心掛け— 220

※ なお、本書の編集にあたり、本文中の字句や表現を一部修正しました。

# 第1章

## 一人ひとりカケガエのない人のために

スピーチ例 22

## ある奏者の一言 — 家族に心配をかけました —

大阪を本拠とする企業グループの会が主催した聞きそびれていました。

するコンサートがあります。「吹奏楽とクラシックの夕べ」といったものですが、各企業のアマチュア・グループの混成サウンズです。私も昨年、吹奏楽の部に参加しましたが、その中でユーフォニウムの奏者の一人は繊維業の製造現場で働く人でした。

「その手はケガをされたのですか」  
「ええ、指を機械で挟んで、骨に雑菌が入り、長びいています。もう良いのです」

「それは、大変でしたネ」  
「ええ、家族に心配をかけたのが一番辛かったですネ」

「ええ、家族に心配をかけたのが一番辛かったですネ」

さて、そのユーフォニウムの奏者の左手の小指と薬指にはいつも白い包帯が巻かれています。私は仕事柄、いつも気になっていました。私は仕事柄、いつも気になっていま

その時、なぜか私はガンと心に大きなショックを受けました。日ごろ、ケガをされた

方の救急活動をやっている、家族との連絡は大きな災害の場合だけで、めったに取っていません。家族への連絡など、何もしていなかった自分の日常に問題があると気づいたからです。

私たちは職場で仲間と一緒に仕事をしてますが、その前に毎朝私たちを送り出し、帰れば迎えてくれる妻や子供たちの笑顔や笑い声に支えられて仕事をしているのです。指を切断しなければならぬかも知れないとの心配をかけた家族への思いやりが、先ほどの言葉となったのでしょうか。

私たちは一人で生きているわけではありません。

「ケガをしない、させない」——自分と仲間のゼロ災を日々繰り返し念じているのは、多

くの家族の思いでもあるのです。

## 第2章 安全職場づくりの第一歩のために

スピーチ例 22

## 一秒間の安全推進法

—朝の出会いの挨拶を—

安全について話をすると、すぐ出る言葉があります。

「そんな事は知っている」

「仕事は安全第一ですればよい」

「ケガさえしなければよいのだ」

このように頭脳にあるコンピュータは直ちに反応を示し、そこには自信の表情すらうかがえます。しかし、仕事をしている時に、いつも「安全第一」と頭脳から指令がでてくるかどうか、それは大変難しいことなのです。そこで今日は安全の基本として、時間も場所も経費も必要としない、わずか「一秒間の安全推進法」を提案します。それは毎朝行う挨拶なのです。

「おはようございます」、「おはよう」、「オス」の挨拶なら、どれも一秒ですみます。

職場の人間関係は、大なり小なり複雑な感情がいつも混在しており、「あいつは口先だけで仕事は出来ない」、「先輩づらして何だ」、「どうも虫が好かない」等々、いろいろな不満がたまりがちです。

しかし、たとえ嫌いな人でも、毎朝必ず顔を合わせてミーティングを実施し、八時間は一緒にいなければなりません。特にミーティングの時に仲の良い人とは何ごともスムーズに話し合えるが、日頃から人間関係が良くないと、ちよつとした言葉遣いからでも言い

合いになったり、バカにされたと返事もしなくなったりするものです。

ところが、このような小さなトラブルが、実は事故の引き金になることがあるのです。事故・災害が発生し、原因調査を行っても、どうしても分からなくて壁にぶち当たるのがよくあります。それと関連しているのが、この問題なのです。

人間の頭脳コンピュータはとてもよく出来ており、気持ちよく仕事をしている時には意識が集中していて、ミスもなく続けられます。しかし、同時に他の事を考えることも出来ます。例えば、朝のミーティングでトラブルがあったとすると、仕事の中にふと思いつくのです。

「あの先輩とは仕事をしたくない」、「あいつは口先だけで…」と考えたとき、ついつつ

かり不安全な行動をとりがちです。これまで無事故のベテランが回転機器で挟まれた、あるいは、なんでも出来たプロの職人が高所から落ちたなど、その例は数え切れません。

安全の第一歩は朝の出会いにあるのです。お互いに顔を合わせた時に「おはようございます」、「おはよう」、「オス」と相手をよくみて、心から大きな声で挨拶を交わしましょう。頭を下げるだけでは、相手に心が通じません。たとえ虫の好かない人でも、挨拶を続けると必ず心を開いてくれます。

よい人間関係はよい職場づくりの基です。今日からでも「一秒の挨拶」を実行しようではありませんか。

## 安全衛生 3 分間スピーチ選集

—厳選・朝礼に使える 100 の話材—

---

平成 29 年 5 月 31 日発行

編 者 中央労働災害防止協会

発 行 者 阿部 研二

発 行 所 中央労働災害防止協会

〒108-0023

東京都港区芝浦 3 丁目 17 番 12 号

吾妻ビル 9 階

電話 販売 03 (3452) 6401

編集 03 (3452) 6209

---

初期不良等はお取り替えいたします。©JISHA 2017

中災防ホームページ <http://www.jisha.or.jp/>